

整理番号 2030

対象疾患	シェーグレン症候群
使用する治験薬	デュークラバシチニブ（TYK2 阻害薬）〈錠剤〉
治験デザイン	<p>第Ⅲ相試験</p> <p>A 群：デュークラバシチニブ 3 mg</p> <p>B 群：デュークラバシチニブ 6 mg</p> <p>C 群：プラセボ</p> <p>※ 医師や患者さんがどの群の治療を受けるかは選択できませんが、A 群、B 群または C 群のいずれかの治療を受けることになります。</p> <p>※ 「プラセボ」とは、治験薬と色や形が同じですが、有効成分は入っていません。プラセボと治験薬をそれぞれ使って、治験薬による効果と、プラセボを飲んだことによる心理的な効果を比べて、治験薬が本当に有効なものかを客観的に評価します。</p>
参加いただける患者さんの条件	<p>以下の条件を満たす方が対象となります。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 文書により同意できる2) 18 歳以上である3) シェーグレン症候群の分類基準を満たし、診断からスクリーニングまでの疾患の継続期間が 16 週間以上4) シェーグレン症候群と診断されてからスクリーニングまでの疾患の継続期間が 10 年以内5) 唾液の分泌量が基準以上6) 臓器機能が保たれている <p>※ 上記の条件は概要であり、これらに該当していても参加できないことがあります。</p>
治験責任医師	腎臓・リウマチ膠原病内科 川野 充弘
治験依頼者	ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社
jRCT-No.	未公開
備考(企業 HP 等)	https://www.bms.com/jp/researchers-and-partners/in-the-pipeline.html